



# 探究的な学習研究推進通信

Fukutomi Inquiry Learning Team



令和4年  
7月27日  
(水)

No.14

## 「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域連絡協議会」に参加しました。

7月11日(月)に竹原市立吉名学園で行われた、「令和4年度第2回探究的な学習の在り方に関する研究推進地域連絡協議会」に参加しました。第1学年、第4学年、第9学年(義務教育学校なので、中学校3年生ではありません。)の3つの研究授業のうち、第9学年の授業を参観させていただきました。内容は、生徒たちが企画した未来創造プロジェクトを、学校運営協議会の方々に聞いていただくという授業でした。福富中学校3年生が行う「福富提言」と似ているところがあると思います。プロジェクトの内容説明や質問への返答を自分の言葉で行っている生徒を見て、しっかり自分事として活動してきたんだと感じました。また、学校運営協議会の方々も、生徒の思考が深まる質問をされたり、実現するために見通しが甘いところを指摘されたりするなど、探究的な学習が次のステージに進むような質問をされていました。(本校で同じような会を実施する場合には、こういった方向の意見を述べてもらいたい、事前連携が必要だと思います。) 参観していない学年のものも含めて、指導案や研究構想図などの資料をいただいています。自分たちの活動の参考にされたい方は、飯垣に声をかけてください。



協議会では、竹原市立吉名学園 亀井伸幸 校長と、武庫川女子大学 藤本勇二 准教授に講話をしていただきました。皆さんと共有したいことについてお伝えします。

### 竹原市立吉名学園 亀井伸幸 校長 「組織的な研究推進のために」

#### ○組織を「組織する」

組織は既にあるものではなく、目的に応じてトップが意図的につくるものです。効果的な成果や人材育成、それぞれの個性の活用など様々な視点をもって校長が組織づくりを行います。よりよい研究推進のためには、どのような意図で組織づくりが行われたのか、教員がその意図を汲み取って研究を進めていく必要があります。ですから、ちょっとしたことでも積極的に管理職とコミュニケーションをとってください。

#### ○研究を「組織する」

こちらが研究を実際に行っていくリーダーの皆さんがやるべきことです。6つの「共有」があります。

- ①理念の共有……自校の教育理念をグランドデザインに浸透させる。(教育構想図など)
- ②目標の共有……1つの目標に向けて活動することで、各活動の関連性を担保する。
- ③ゴールイメージの共有……どこがゴールなのか思いを伝える。熱は大切。熱を伝えることで温度差を整える。
- ④フィールドの共有……どのような場で戦うのか、土俵を定める。(カリキュラムマネジメント)
- ⑤戦術の共有……指導方法や目標達成に向けてアプローチの仕方などを共有する。
- ⑥成果の共有……成果をともに喜び、次の活動に向かう力にする。

○「推進する」とは、動かし、変化することです。

#### ○組織的な研究推進は「強い」研究

みなさんは「強い」研究とはどんなものと考えますか？ 例：学校としてグラグラしない研究など

(な)研究推進



※ちなみに自分は「人が変わっても持続可能」としました。

### 武庫川女子大学 藤本勇二 准教授 「“本物”の探究を進める学校」

○AAR サイクル(見通し・行動・振り返り)で授業観と研修観を育てる。(OECD LEARNING COMPASS2030)

見通し: 知的で論理的、理性的な「予想・予測」

「ワクワクする」、学びへの動機づけになる「予感」や「期待」を含める。

振り返り: 自分が取り組んだ課題に対して、自分はどうかだったかを振り返り、批判的に探究すること。継続的に、思慮深く注意深く考えること。他者と共に学びを振り返る、対話しながら振り返る。

○探究的な学びとは自立した学び

教師が自立した学びを実現する、協働的な力量形成が実現する学校を目指す。

子どものよさや育ちへ着目する。

見取るのは難しい！ なぜなら

思いや願いを育てる: 目標を実現するにふさわしい探究課題

体験と表現を : 探究課題の解決を通して育成を目指す  
豊かに行き来する 具体的な資質・能力

気づきの質を高め、: よりよく課題を解決し、自己の生き方を  
深い学びを実現 考えていくための資質・能力

自らの暗黙の前提となっているものの見方や考え方・認識の枠組み(教育観、子ども観、指導観など)を省察しなければならないから。教師は個人的な成功体験できている。なぜ上手くいったのか、振り返ることはない。確認バイアスがかかっている。

○「見取り」による校内研修で探究を支える教師集団に成長していく必要がある。

9月20日(火)の研究授業では、教えていただいた方法で見取り・協議を行う予定です。以下次号

## これからの予定



7月29日(金) 指導案を  
市教委に提出

8月 2日(火) ONGEE HOUSE 14:00-16:00 頃  
「移住してきた方の話を聞く会」

泉さんが5名ぐらいの方(移住者)に声をかけてくださるそうです。可能な方は、ぜひ参加して、地域と交流しましょう！

8月 4日(木) 花岡指導主事来校  
各ブロックで検討会

9月20日(火) 第2回研究推進協議会  
中1・2年研究授業

本格的に活動がスタートしています。校外調査に出る場合には、計画書を早めに提出しましょう。

## 先達の言葉

理解することを英語で「understand」と言います。語源は下に立つこと。相手を尊敬し相手から学びとろうとする謙虚な精神があつて本当の理解ができます。

平塚益徳(教育学者)

どのように授業を展開すればいいのか迷ったとき、自分はいつ過去の経験に頼ってしまいます。でも一教員の昔の成功体験が、最善の策であるとは限りませんよね。児童・生徒の姿を正しく見取ることができれば、そこを足場とした、よりよい展開の計画を立てることができます。謙虚な姿勢で児童・生徒の姿を見取っていきましょう。